

ゼロからわかる

『幾何公差の意味と見方の基礎知識』

モノづくりのグローバル化が進んだ現在、設計、図面もグローバル化が求められ、どこでも同じ品質の製品が作られることが必要とされています。そのために「製品の幾何特性仕様（GPS）」が重要視され、幾何公差の使用された図面が増えています。このような図面を見て、幾何公差の意味や内容が理解できず困惑する方も多いのではないのでしょうか？
 本プログラムのeラーニングでは、GPSの基本から主に幾何公差の図面上での意味、見方をわかりやすく解説し、実践型研修では模型を作成しながら楽しく理解できます。

カリキュラム

e-learning



1 GPSの基本

- ・GPSって何？

2 サイズ表記の基本

- ・「寸法」と「サイズ」の違い
- ・新JIS「サイズ」の種類

3 表面性状の基本

- ・表面性状の種類と記号の意味
- ・表面性状の表し方

4 幾何公差の基本

- ・データムの考え方
- ・幾何公差の表し方

集合型実践研修



1 GPSのおさらい

- ・GPS、品質の考え方の動向
- ・サイズ、公差、はめあい
- ・幾何公差、表面性状

2 幾何公差の応用

- ・幾何公差とサイズの影響の考え方
- ・包括の条件、最大実体公差の考え方
- ・幾何公差を含んだ図面の見方
- ・演習、質疑応答

e-learning 動画配信期間

2021
2 / 10 ~ 3 / 23

講師

ナリタエムイー 技術士（機械部門）
成田 博 氏

大学卒業後、機械部品メーカーにて精密減速機などの開発設計に携わり、大学との共同研究による新商品の開発に計画から設計、評価、製造法検討、特許申請、販売まで一貫して行い、いくつもの商品を世に出してきた。
 現在は、機械設計業として独立し、専用機、設備設計を主業務としながら業務経験を活かして企業への技術指導や技術者育成などにも取り組んでいる。

集合研修日

2021
3 / 11 木
 10:00~16:00

集合研修会場

名古屋市内研修会場（予定）
 詳細は受講票にてお知らせいたします

お申込みについて

中産連ウェブサイトよりお申込みください

▶ <http://www.chusanren.or.jp/diversity/03.html>

